

# Weekly Report

(2013年2月第3週)

光世証券株式会社

## 株式市場概況

### ● 先週（2/4 - 2/8）の動き

週初は1万1千円前半のもみ合いとなっていた。しかし、火曜日の引け後に日銀の白川総裁が任期を一ヵ月繰り上げて総裁職を辞任すると発表されたことから、金融緩和への舵取りが早くなるとの期待から円安が進み、日経平均は11,500円まで一気に上昇した。ただし、その後は円安の勢いが弱まり、株価は伸び悩んだ。週末の日経平均株価は前週末比-0.34%の11,153円で一週間の取引を終えた。

木曜日のECB理事会では、予想通り金融政策に変更は無かった。理事会後の会見でドラギ総裁が最近のユーロ高を懸念する発言を行い、ユーロが急落する場面があった。

セクター動向は、上昇に、決算発表値が予想を上回った空運、鉄鋼、輸送用機器が入った。下落は、決算発表の内容が悪かった精密、鉱業、不動産となった。スタイルインデックスからは、割安な銘柄が強く成長株が弱かったことや、大型株が強く小型株が弱かったことが分かる。

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)				
空運	11.56%	精密機器	-4.97%	TOPIXバリュー	2.75%	TOPIXグロース	0.32%
鉄鋼	6.66%	鉱業	-3.14%	コア30	2.71%	TOPIXスモール	0.06%
海運	5.91%	金属製品	-2.83%	TOPIX	1.56%	REIT指数	-0.12%
輸送用機器	5.50%	電気ガス	-2.02%	東証2部	1.53%	日経平均株価	-0.34%
証券商品先物	3.79%	倉庫運輸	-1.75%	ミッド400	1.26%	マザーズ	-4.37%
銀行業	3.75%	不動産業	-1.27%	TOPIXL70	0.73%		

### ● 各国の主要経済指標

日本のマネタリーベース（1月・前年比）は10.9%（前月11.8%）と前年比で大きな伸びが継続した。機械受注（12月・前年比）は-3.4%（予想-3.9%・前月0.3%）と予想を上回ったが、海外からの受注が伸びず、内閣府の基調判断は「全体としては弱含み基調が続いている」となっている。オフィス空室率（1月）は8.56%（前8.69%）と改善した。景気ウォッチャー調査（1月）は現状判断DIが49.5（予48・前45.8）、先行き判断DIが56.5（予52・前51）と予想を大幅に上回る伸びを見せた。

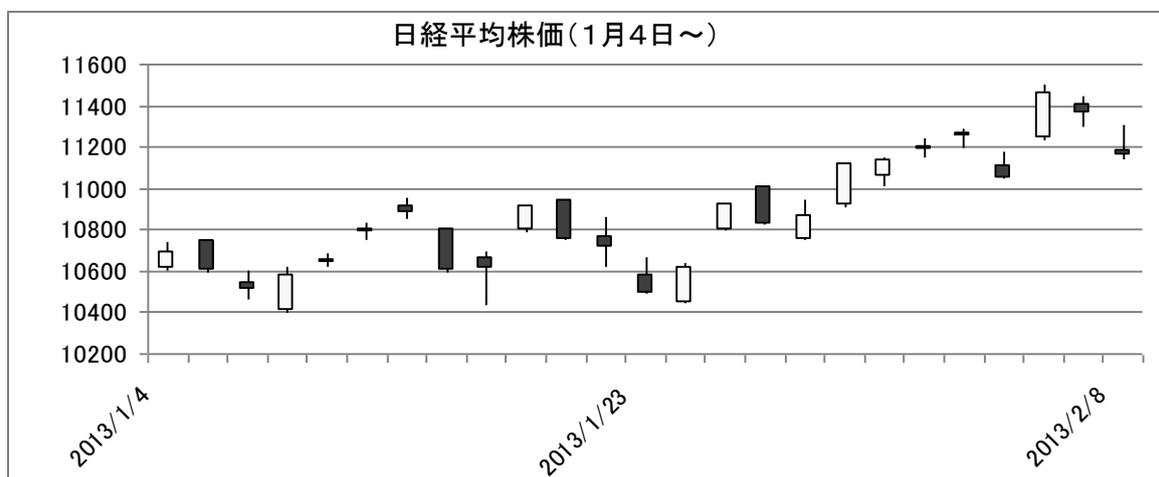
米国の製造業受注（12月・前月比）は1.8%（予2.3%・前0→-0.3%）と予想を下回った。ISM非製造業行啓協指数（1月）は55.2（予55・前56.1→55.7）となった。予想を上回ったものの、前月からは鈍化している。非農業部門労働生産性（4Q・前期比）は-2.0%（予-1.4%前2.9%→3.2%）となった。一方、労働コスト（4Q・前期比）は4.5%（予3%・前-2.3%）と増加。労働コストの上昇から、今後、雇用が増加していくとの見方が多い。新規失業保険申請件数（前週分）は36.6万（予36万・前36.8万→37.1万）となった。

中国の貿易収支（1月）は2915億ドル（予2470億・前3162億）、輸入総額（1月・前年比）28.8%（予23.5%・前6%）、輸出総額（1月・前年比）25%（予17.5%・前14.1%）と全てで予想を上回る伸びとなった。

## 今後の注目材料

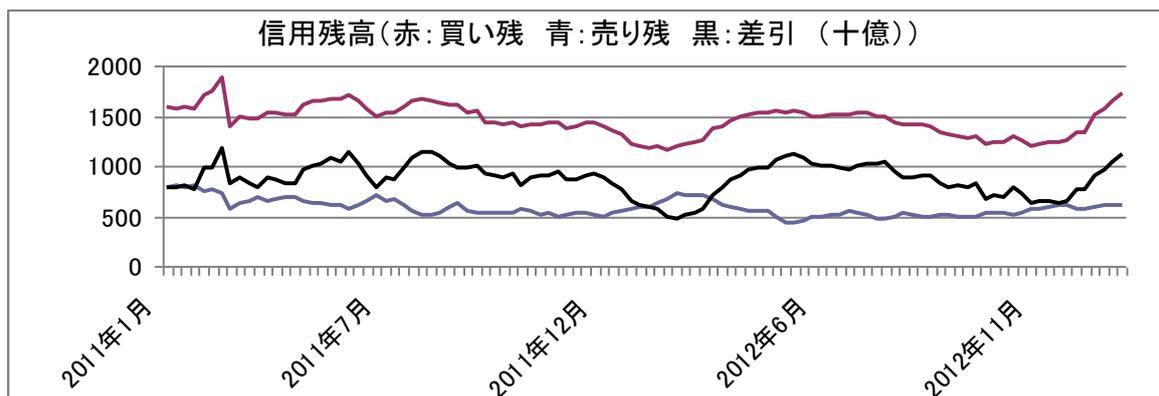
先週、日経平均の連騰記録が12週で途切れた。TOPIXの方は途切れず13週連続となったが、ドル円の円安も一段落しそうなことや、株の信用評価率がプラスになっていることから徐々に株価の上値は重くなっていくだろう<sup>1</sup>。上値が重くなるが、株価が下落トレンドへと入ることは想定しておらず、押し目を探す展開となるだろう。押し目買いの目安だが、25日移動平均のある1万869円がひとまずの目安となるだろう。その下は最近の支持帯となっている1万400円辺りとなる。今後、日銀総裁人事に注目が集まると思われるが、今回の白川総裁の早期辞任発表で反応してしまった分、株価が大きく反応することは無いだろう。2月末の安倍首相の訪米でTPPの参加が発表される可能性は高くないようだ。そう考えると株価が反発するタイミングは、新総裁による初会合が行われる4月4日の少し前である3月中旬辺りだろう。

それまでは中国との軍事問題や、イタリアの総選挙などが問題視され、株価が上昇し難い環境となるだろう。



## 株式市場の需給動向（前週分）

投資部門別は引き続き、国内売りの海外勢買いが続く。信用買い残、裁定買い残は大幅に増加した。



<sup>1</sup> 過去を見ると、信用評価率がプラスになると株価指数が調整することが多い。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/2/1	41.15	-31.57	-47.63	-10.19	-170.91	-114.36	382.07
2013/1/25	20.44	-29.78	-9.38	1.06	-161.35	-9.83	199.16
2013/1/18	82.21	-81.90	-36.73	-9.94	-164.53	-12.33	213.81
2013/1/11	22.39	-25.60	-42.79	3.54	-210.17	39.43	252.50
2013/1/4	-17.17	18.49	-17.64	-5.24	-42.12	-77.51	190.40
2012/12/28	100.71	-98.42	-15.73	-22.80	-240.39	-67.45	266.65
2012/12/21	-12.49	30.46	-16.83	-64.68	-324.55	-206.77	701.92

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号  
加入協会／日本証券業協会